

## 令和 3 年度 諏訪地域障がい福祉自立支援協議会 報告書

### 運営委員会

【委員長】 清水 利恵 (茅野市地域福祉課)

【副委員長】 伊藤 英次 (精明学園)

#### 【役割】

- ・協議会の企画・提案を行うとともに、部会や地域関係者からの課題を整理し、検討、調整する。

#### 【開催と協議内容】

第 1 回 5 月 26 日 (水)

- ・各部会、委員会 令和 2 年度報告／令和 3 年度計画と予算
- ・オアシスの評価についておよび評価委員の意見について
- ・オアシス相談支援事業 令和 2 年度報告／令和 3 年度計画
- ・第 6 期障害福祉計画・第 2 期障害児福祉計画 推進会議について
- ・オアシス相談支援事業 評価シートの検討について
- ・障害者差別解消支援地域協議会について
- ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの検討の場について
- ・諏訪地区特別支援教育 C0 等連絡会 研修会共催の申請について
- ・令和 3 年度フォーラムの開催について

第 2 回 7 月 30 日 (金)

- ・障害者差別解消支援地域協議会について
- ・日中サービス支援型 GH 協議会評価について
- ・オアシス相談支援事業 評価シートの検討について
- ・その他 行政連絡会の定期開催について  
コロナワクチン接種に行かれない方への行政の協力と配慮について

第 3 回 9 月 13 日 (月) ※Web 会議 (Zoom)

- ・平成 26 年実施の移動支援 (プール・温泉支援者) の養成研修について
- ・平成 28 年作成のヘルプカードについて
- ・障害者差別解消支援地域協議会 要綱について

第 4 回 10 月 15 日 (金)

- ・10/27 全体会議について 部会・委員会中間報告、意見交換会について
- ・12/4 協議会フォーラムについて 周知等
- ・日中サービス支援型 GH 協議会評価について

## 第5回 11月22日(月)

- ・全体会議意見交換会報告
- ・長野県発達障がいサポート・マネージャーについて
- ・生活介護実態調査の報告と今後の取り組みについて
- ・その他 地域移行に関する調査について

## 第6回 1月27日(木)

- ・第6期障害福祉計画/第2期障害児福祉計画推進会議より各部会へ依頼
- ・地域生活支援部会防災WGより災害時情報シートについて
- ・精神障がいにも対応した包括ケアシステムについて
- ・オアシス評価について

## 第7回 3月16日(水)

- ・第6期障害福祉計画/第2期障害児福祉計画と協議会との連動表の作成
- ・「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議の場」について
- ・令和3年度協議会で新たに決めたこと、実施すること等の確認
- ・協議会役員行政分担表の確認

## 【まとめ・次年度へ】

- ・令和3年度より、第6期障害福祉計画/第2期障害児福祉計画の推進会議を協議会内に位置付け、協議会との連動表を作成したことで福祉計画の推進体制を整えることができた。
- ・運営委員会での検討内容の増加に伴い、行政連絡会を定期開催として検討内容を整理したことで、運営委員会での協議の円滑化に繋がった。運営委員会と行政連絡会を連動させることで、より実行力のある協議会運営を目指していきたい。

## 令和3年度 諏訪地域障がい福祉自立支援協議会 報告書

### 行政連絡会

【正】 清水 利恵 （茅野市地域福祉課）

【副】 高山 理恵 （岡谷市社会福祉課）

【役割】 協議会からの提案等について、行政の見地から調整、検討を行う

【構成員】 6市町村係長、諏訪保健福祉事務所福祉課係長、正副運営委員長、オアシス

### 【開催 協議内容】

第1回 令和3年 6月28日（月）

- ・ 障害者差別解消支援地域協議会について
- ・ 日中サービス支援型 GH 協議会評価表について
- ・ 令和3年度報酬改定の内容について（相談支援体制の強化について）
- ・ 医療的ケア児者コーディネーターについて
- ・ 基幹センターのあり方について
- ・ 諏訪圏域障がい者総合支援センターの評価シートについて

第2回 令和3年 9月10日（月）

- ・ 災害への取り組みについて（地域部会、相談部会の活動から）
- ・ ヘルプカードの増刷について
- ・ 移動支援（水泳・温泉）の支援者養成研修について
- ・ オアシス予算について
- ・ 障害支援区分認定調査のオアシスへの委託について

第3回 令和3年10月21日（木）

- ・ 日常生活用具について
- ・ 就労アセスメントについて
- ・ オアシス相談支援事業評価シートについて
- ・ 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの協議の場について
- ・ 災害時情報シートについて 等

第4回 令和3年12月16日（木）

- ・ オアシス相談支援事業評価シートについて
- ・ 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの協議の場について

第5回 令和4年2月17日（木）

- ・ 協議会委員会役員の行政担当について
- ・ 地域生活支援拠点事業検討会の要領の見直しについて
- ・ 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの協議の場について

### 【まとめと次年度へ向けて】

年度後半、議題の多い運営委員会より要望があり、行政連絡会を隔月に定期開催とした。運営委員会と行政連絡会での協議内容の整理ができたことで、運営委員会の協議の効率化と円滑な進捗を可能とした。次年度も隔月に定期開催し協議会の推進を担う。

## 令和 3 年度 諏訪地域障がい福祉自立支援協議会 報告書

## 地域生活支援拠点の整備事業検討会

【地域生活拠点事業検討会長】 大澤英恵（基幹相談支援センターオアシス）

【地域生活拠点事業検討副会長】 藤巻和彦（はらむら悠生寮）

植松真実（富士見町役場）

## 【役割】

- 地域の様々なニーズに対応できるサービス提供体制の確保や、地域の社会資源の連携体制の構築を行う（諏訪圏域地域生活支援拠点等事業実施要領（以下「実施要領」）第4条（5）より）
- 地域の現状分析や必要な機能の整理、地域生活支援拠点等の整備の方針等について検討を行う（実施要領第5条より）

## 【構成員】

- 実施要領第5条に規定する「連絡会」として位置づけ、6市町村担当係長、諏訪保健福祉事務所福祉課係長、障害福祉サービス事業者（空床確保協力3事業所、相談支援事業所）、オアシス及び拠点コーディネーターを構成員とする。

## 【開催経過と協議内容】

第1回 令和3年5月26日（月）

- ・緊急時の受け入れ状況について
- ・地域生活拠点事業検討会の在り方について

第2回 令和3年11月30日（火）

- ・緊急時の受け入れ状況について
- ・地域生活拠点事業の在り方について
- ・強度行動障害アンケートからの報告
- ・COの役割
- ・諏訪圏域の目指す拠点の在り方

第3回 令和4年2月8日（火）

- ・緊急時の受け入れ状況について
- ・生活介護事業における課題調査について
- ・体験の場について
- ・実施要領見直しについて
- ・第6期障害福祉計画及び第2期障害児福祉計画と協議会各委員会・部会との連動について

## 【評価及び今後の課題】

- ・今年度の緊急時受け入れの実績は4件。内容としては家族間、夫婦間のトラブルから緊急受け入れの利用となった。
- ・強度行動障害児者の緊急時の受け入れや体制整備については今後検討の場を設け進めていく。
- ・諏訪圏域地域生活支援拠点等の機能を担う事業所認定手順（フロー）を整理し見やすい形にした。また、フローの作成をきっかけに拠点等事業の体制整備を進めるうえで要領の見直しについて検討する必要があるとし、今後事業の実施主体である市町村が中心になり要領改正の検討を進めていくことになった。
- ・拠点事業等の整備に必要な①相談支援、③体験の場・機会、④専門的人材の確保・養成について、今後も引き続き取り組む。

## 令和3年度 諏訪地域障がい福祉自立支援協議会 報告書

## 人材育成委員会

## 【目的】

○障がいのある人や子どもが、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域全体で支えるために必要な人材を育成する。

【委員長】 鈴木 美和子（諏訪圏域障がい者総合支援センター）

【副委員長】 中村 修（ゆらり相談支援センター）

清水 利恵（茅野市地域福祉課）

## 【開催経過と協議内容】

第1回 令和3年5月13日（木）

- ・圏域人材育成ビジョンの作成について3つの主題に分かれて討議
- ・主任相談支援専門員の役割と協議会での推薦方法について

第2回 令和3年9月2日（木）

- ・圏域人材育成ビジョンの作成
- ・主任相談支援専門員の推薦方法について

→ 代表市町村係長と主任相談支援専門員7名でさらに協議を行い推薦（案）を作成

第3回 令和3年12月1日（水）

- ・圏域人材育成ビジョンについて
- ・主任相談支援専門員の役割と推薦方法（案）を完成

第4回 令和4年3月4日（金）

- ・圏域人材育成ビジョンについて最終チェック
- ・令和4年度の委員会の活動について

圏域ビジョンの活用、講師派遣の検討、圏域研修会の内容についての協議 等

## 【評価及び今後の課題】

・協議会の行う人材育成を明確にするために、人材育成の目的、役割、圏域研修体制、事業所を支える相互活用の仕組みをまとめた圏域人材育成ビジョンを作成した。

・令和2年度より研修が開始した主任相談支援専門員の受講対象者、主任相談支援専門員に求める役割、研修参加の推薦の基準をまとめた。

・令和2年度に引き続き、コロナ感染防止のため圏域研修会は実施できず、圏域の人材育成が滞っている。令和4年度は新任職員研修、行政職員研修は必ず実施したい。

科目	収入額	支出額	差引金額
研修会（講師料他）	35,000 円	0 円	
当期残額			35,000 円

## 令和 3 年度 諏訪地域障がい福祉自立支援協議会 専門部会 報告書

**権利擁護委員会**

【権利擁護委員長】 植松朋生 （諏訪市社会福祉課）

【権利擁護副委員長】 北原由紀 （ゆらり相談支援センター）

**【今年度の協議目標】**

- ・ 権利擁護委員会の活動を軌道に乗せること
- ・ 障害者差別解消支援地域協議会の始動

**【委員会開催と活動内容】**

○第 1 回 令和 3 年 7 月 21 日（水）

- ・ 正副委員長紹介
- ・ 長野県自立支援協議会権利擁護部会報告
- ・ 成年後見センターからの報告
- ・ 障害者差別解消支援地域協議会について
- ・ 権利擁護委員会の活動内容について
- ・ 長野県障がい者虐待防止への取組（ミニ研修）

○第 2 回 令和 3 年 11 月 1 日（月）

- ・ 長野県権利擁護部会報告
- ・ 成年後見センターからの報告
- ・ 障害者差別解消地域支援協議会について
- ・ 障害者虐待防止に関する、従業者への研修実施が事業所に義務付けられる事に対する圏域としてのバックアップ策の検討

○第 3 回 令和 4 年 2 月 1 日（火）

- ・ 長野県権利擁護部会報告
- ・ 成年後見センターからの報告
- ・ 運営委員会の報告
- ・ 障害者差別解消支援地域協議会について

**【協議内容のまとめ】**

- ・ 障害者差別解消地域支援協議会の設置については権利擁護委員会がコアメンバーとなり進めていくこととなった。
- ・ 障害者差別解消地域支援協議会の設置要綱案を策定し、協議会全体会に諮ることとする。
- ・ 「障害者虐待防止の更なる推進」として、令和4年度より義務化される項目について周知した。また令和4年度の実施予定について事業所に確認した。

**【評価及び今後の課題】**

- ・ 諏訪圏域の障害者差別解消支援地域協議会を自立支援協議会に設置する取り組みを進めた。
- ・ 「フォーラム」との協働による権利擁護や差別解消に関する講演会の開催等、コロナ禍においても実施可能な周知・啓発の方法を検討する。・ 障がい（児）福祉計画に基づき、障がい福祉サービス等の質の向上のための取り組みに係る体制の構築を推進する。
- ・ 虐待防止の観点から、職員一人ひとりの資質向上を図る研修の実施を検討する。
- ・ 「障害者虐待防止障害者の更なる推進」に関して改定内容未確認の事業も複数あったことから、引き続き各事業所の取り組み状況の把握と委員会としてのバックアップについては継続的に検討したい。
- ・ 本年度は障害者差別解消支援地域協議会設置の準備期間となった。令和4年度は障害者差別解消支援地域協議会の周知を行い、具体的な活動に繋げていきたい。

## 令和 3 年度 諏訪地域障がい福祉自立支援協議会 専門部会 報告書

## 療育支援部会

- 【部会長】 坂本 由紀子 (諏訪圏域療育コーディネーター)  
【副部会長】 五味 智子 (諏訪養護学校)  
浅澤 恵里 (下諏訪町健康福祉課福祉係)

## 【今年度の協議目標】

- 諏訪圏域の子育て期の課題解決の方向の検討
- 保護者・支援者の知りたい情報を把握し、情報提供と研修会の企画
- 『諏訪圏域 保育園・幼稚園・学校における関係機関の連携等に関する調査』のアンケートの集計と検討

## 【部会開催と活動内容】

◇ 第 1 回 令和 3 年 4 月 23 日 (金) Web 会議

- 新しい事業所の紹介「インハート諏訪」
- 今年度の計画について
- スキルアップ研修について
- 『諏訪圏域 保育園・幼稚園・学校における関係機関の連携等に関する調査』についてグループワーク

◇ 第 2 回 令和 3 年 7 月 6 日 (火)

- スキルアップ研修について
- 『諏訪圏域 保育園・幼稚園・学校における関係機関の連携等に関する調査』についてグループワーク

◇ 第 3 回 令和 2 年 9 月 17 日 (金) Web 会議

- 『諏訪圏域 保育園・幼稚園・学校における関係機関の連携等に関する調査』についてグループワーク
- 『諏訪圏域 保育園・幼稚園・学校における関係機関の連携等に関する調査』の情報発信先と方法の検討

◇ 第 4 回 令和 3 年 11 月 30 日 (火)

- 『諏訪圏域 保育園・幼稚園・学校における関係機関の連携等に関する調査』についてまとめ
- 発達障がいサポートマネージャーによるミニ講座『早めの気づき 適切な学び～LDのあるお子さんに対する支援～』

◇ 第 5 回 令和 3 年 2 月 4 日 (金) Web 会議

- 『諏訪圏域 保育園・幼稚園・学校における関係機関の連携等に関する調査』の課題について
- 『第 2 期障害児福祉計画』について
- 今年度の活動の反省・来年度の計画



## ☆スキルアップ研修

諏訪地区特別支援教育コーディネーター等連絡会と共催開催

各職場を会場としたオンライン研修会

演題『感情をコントロールする力を育てる子どものかかわり方』

講師 大河原 美以 先生（臨床心理士・公認心理師・教育学博士）

期日 令和3年10月17日（日）14:00~16:00

## 【協議内容のまとめ】

- コロナ感染の拡大により3回のWeb会議と2回の対面会議となった。
- 5年毎実施している『諏訪圏域 保育園・幼稚園・学校における関係機関の連携等に関する調査』のアンケート調査の考察と総括の検討をグループワークで実施し、まとめる事ができた。CDの形で部会員にご協力いただいた保育園・幼稚園・学校に配布した。アンケート調査の結果を研修会や諏訪地区校長会で活用した。
- コロナ感染の拡大に伴いスキルアップ研修をオンライン研修会で実施した。73口138名の参加で自立支援協議会関係は17名であった。良い研修内容だったという感想が多かった。
- ミニ研修として『早めの気づき 適切な学び～LDのあるお子さんに対する支援～』のお話が聞けたことは良かった。

## 【評価及び今後の課題】

- コロナ禍の中、会議開催を柔軟に対応でき、Web会議でもグループワークが行えた事は良かった。
- 『諏訪圏域 保育園・幼稚園・学校における関係機関の連携等に関する調査』のアンケート調査を考察・総括を加えまとめる事ができ、CDの形で配布できた事はよかった。この結果からの課題の抽出や活用を今後も検討し実施していきたい。
- スキルアップ研修は、支援者や保護者への重要な情報発信である。コロナ禍であったがオンライン研修で開催できたことは良かった。職場単位のオンラインだったため環境が整わず参加が難しい部会員がいたことは残念であった。今後の開催について考慮したい。

## 【決算】

科目	収入額	支出額	差引金額	摘要
R3年度部会費	70,000円			
研修会講師謝礼		50,000円		研修会講師謝礼代
『諏訪圏域 保育園・幼稚園・学校における関係機関の連携等に関する調査』		3,564円		CD-R
		330円		CD ケース
		1,166円		プリンターインク代
		1,073円		封筒
	600円			送り状印刷
合計	70,000円	56,733円	13,267円	

（令和4年4月10日現在）

## 令和 3 年度 諏訪地域障がい福祉自立支援協議会 専門部会 報告書

## 地域生活支援部会

- 【部会長】 松井陽介（相談支援事業所 グローブ）  
【副部会長】 伊藤英次（相談支援事業所 精明学園）  
佐藤恵（富士見町社会福祉協議会地域活動支援センター赤とんぼ）  
神戸希代江（富士見町役場 住民福祉課社会福祉係）

## 【協議目標】

地域で暮らす障がい者が日常でも有事の際にも安心して過ごせる環境づくりをしていく。

## 【部会開催と活動内容】

## ●部会

- 第 1 回 令和 3 年 5 月 19 日（水） 13：30 ～  
・令和 2 年度部会報告、令和 3 年度部会計画の承認
- 第 2 回 令和 3 年 8 月 27 日（金）13:30～ Zoom  
・生活介護実態調査 WG、防災 WG、 GH サビ管連絡会の活動の進捗報告と意見交換  
・事業所内でコロナ感染者が発生した際に想定される課題と解決策について意見交換
- 第 3 回 令和 3 年 11 月 17 日（水）13：30～Zoom  
・意見交換 移動の課題（障害者通所施設交通費助成）について  
地域移行に関する入所施設への聞き取り調査について
- 第 4 回 令和 4 年 2 月 22 日（火）13:30～ Zoom  
・「災害時における要配慮者への支援の仕組みを考える勉強会」の報告  
・災害時情報シートについて意見交換  
・来年度の協議事項について

## ●生活介護実態調査 WG

諏訪圏域の 22 の生活介護事業所（基準該当含）に対し、現在の運営・支援状況等について、調査員の訪問（2 人 1 組）による聞き取り調査を実施、調査結果をとりまとめた。

## ●防災 WG

- 第 1 回 令和 3 年 7 月 13 日（火）「検討の方向性について」  
第 2 回 令和 3 年 8 月 10 日（火）「全国の事例を持ち寄り意見交換」  
第 3・4 回 令和 3 年 9 月 6 日（月）10 月 4 日（月）「災害時情報シート作成」  
第 5・6 回 令和 3 年 11 月 17 日（水）12 月 24 日（金）「モデルケース作成・検証」  
第 7・8 回 令和 4 年 1 月 21 日（金）2 月 22 日（火）「作成マニュアル・記入例の検証」  
第 9 回 令和 4 年 3 月 22 日（火）「次年度に向けて」

## ●防災講演会

『災害時における要配慮者への支援の仕組みを考える勉強会～災害時福祉支援の実践から～』

日時：令和3年12月24日（金）13：30～15：30 Zoom・いきいき元気館交流広場

「実践報告」 岡谷市・茅野市 担当職員より～豪雨災害の現場から～

「講演」講師：長野県災害福祉広域支援ネットワーク 南信地区チームリーダー 北原由紀 氏

## ●グループホーム連絡会（サビ管連絡会・世話人連絡会）

○サビ管連絡会の開催

第1回 令和3年7月9日（金）13:30～

・今後の活動について、情報交換

第2回 令和3年11月12日（金）13:30～

・記録や職員間の情報共有について意見交換

○グループホームオンライン見学会

第1回 令和3年9月21日 シーズホーム

令和3年9月30日 グループホームパストレー

第2回 令和4年3月8日 ゆとり桜ヶ丘、ふお～ゆ～湯の脇

## 【評価及び今後の課題】

○生活介護事業所への聞き取り調査を通じて、送迎、空間・設備、人材、情報に関する課題がそれぞれ寄せられた。基準該当の制度を活用した介護保険施設との協力の必要性や、生活介護事業所同士の情報共有の場があると良いのではないかと意見があがった。また、調査の中で多く聞かれた、行動障害等で受け入れが困難な方を受け入れるには職員のスキルが足りないという課題については、今後「拠点整備の検討会」と合同で検討をしていく。

○防災 WG では相談支援部会と共同で障がい当事者や家族、支援チームで災害に備え情報を事前にまとめ、共有することができるシート作成することができた。防災意識を高めるツールとしても活用できるものとして今後は実証実験を重ね、使いやすいものに改良していくと共に、諏訪圏域の各市町村の要配慮者への災害対策の実状を調査し、有事の際にも安心して過ごせる環境づくりを進めていきたい。

○防災の講演会はハイブリッド形式で実施し行政担当者や民生員など多くの参加があり好評であった。次年度以降はより詳細な内容の講演会の実施を検討していきたい。

○コロナ禍であったが Zoom を利用しグループホームの見学会を実施することができた。今後は市町村担当者や相談支援専門員などにも周知し多くの方に参加して貰えるようにしていきたい。

## 【決算】

科目	収入額	支出額	差引金額	摘要
今年度予算	50000 円			
講演会謝礼		10000 円		
郵送料		4704 円		
合計	50000 円	14704 円		
当期残額			35296 円	

（令和4年3月31日現在）

## 令和 3 年度 諏訪地域障がい福祉自立支援協議会 専門部会 報告書

## 就労支援部会

【部会長名】 根村 隆司 (社会福祉法人 清明会 就労継続支援A型事業所  
「J u m p i n ’」(ジャンピン))

【副部会長名】 飯田 清吾 (株式会社 あやめ (就労継続支援A型事業所))  
富田 和聖 (社会福祉法人 この街福祉会 第2この街学園  
(就労継続支援B型事業所))  
大和 康広 (岡谷市役所 社会福祉課)

## 【今年度の協議目標】

- ・昨年度に引き続き就労支援部会の存在や改めて「就労＝働く」という視点に立ち、其々の立場(事業所や職員)を通じて情報共有や相互理解が行えるような環境作りをしたいと考える。
- ・今年度の役員体制も昨年度に引き続き、副部会長を2名(A型、B型職員各1名)体制とする予定。
- ・昨年度からの継続事項として「就労アセスメントの検討会」を引き続き行い、本年度に答申の予定。

## 【部会開催と活動内容】

- ・4月7日(水) 新役員顔合わせ(オアシスにて)。
- ・5月18日(火) 就労アセスメント検討会を行った(交流ひろばにて)。
- ・5月20日(木) 第1回就労支援部会開催(交流ひろばにて)。  
新年度役員の承認及び活動計画(「働く」についてのアンケート、就労アセスメント検討会報告等)及び前年度の活動報告を行った。
- ・6月10日(木) 役員打合せ(オアシスにて)。  
第2回部会で「働く」についての意識調査を行うにあたりアンケート内容の精査、就労アセスメントの進捗状況の確認を行った。
- ・7月12日(月) 就労アセスメント検討会を行った(元気館会議室1にて)。
- ・7月20日(火) 役員打合せ(オアシスにて)。  
第2回部会の議事内容(「働く」についてのアンケート結果報告、就労アセスメント検討会報告、富士見町からの提案について等)の確認を行った。
- ・7月27日(火) 第2回就労支援部会開催(交流ひろばにて)。  
「働く」についてのアンケート集計を踏まえて、新型コロナウイルスの影響による利用者支援や職員の働き方等、各事業所や機関より意見や報告を行った。また富士見町よりの提案についての意見交換、就労アセスメント検討会の進捗状況の報告も行った。
- ・8月31日(火) 就労アセスメント検討会(オアシスにて)。
- ・9月9日(木) 就労アセスメント検討会(元気館会議室2、Zoomにて)。
- ・10月7日(木) 就労アセスメント検討会(午後、オアシスにて)。  
役員打合せ(午後、オアシスにて)。  
内容は、第3回部会についての内容確認(就労アセスメント検討会、アンケート集計を基にして今年度後半に向けての部会内容打合せ等)を行った。

- ・10月14日（木）第3回就労支援部会開催（交流ひろばにて）  
就労アセスメント検討会の答申報告、「働く」についてのアンケートを参照しての各事業所からの意見、次回の部会について報告を行った。
- ・12月10日（金）第4回就労支援部会開催（交流ひろばにて）  
今回、座談会を企画し初めて部会の開催される時間を18時とした。初回参加人数は15名。
- ・2月1日（火） 役員打合せ（オアシスにて）  
第5回就労支援部会の議題内容の確認、次年度の体制についての意見交換を行った。
- ・2月15日（火） 第5回就労支援部会開催（元気館会議室1、Zoomにて）  
県自立支援協議会就労支援部会の報告（年間報告、次年度について、令和3年度報酬改定影響調査の報告、研修での事例発表）、就労アセスメント検討会の最終報告、第4回就労支援部会での座談会報告、第6期障害福祉計画及び第2期障害児福祉計画について部会としての連携についての報告（依頼）、令和3年度の振り返りについての報告を行った。
- ・2月17日（木） 相談支援部会への就労アセスメント検討会の最終報告を行った。

### 【協議内容のまとめ】

- ・今年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響はあったが、集合以外にもZoomを利用しての部会も開催できた。
- ・「働く」ことについてのアンケートを実施し、職員側や利用者側から捉えた「働く」ことへの意識や心構えなどの意見を集約できた。
- ・「就労アセスメント検討委員会」ではアセスメントシートの完成が出来た。
- ・部会への参加対象を若年層や現場で勤務する職員を対象とした座談会を実施した。

### 【評価及び今後の課題】

- ・今年度も新型コロナウイルス感染の状況を鑑みての活動となったが、「働く」ことについてのアンケートを集計し職員や利用者側からの「働く」ことについての意識調査が出来た。またこのアンケートを基に座談会を行い、職員間での情報共有や相互理解が行えるような場を設定した。参加人数は少なかったが継続することで、部会の存在を認識できればと考え、今後も継続する予定。
- ・「就労アセスメント検討委員会」では、学校、行政、事業所間での検討を行い、アセスメントシートの完成となった。新年度より活用ができればと思う。
- ・次年度も就労に関わる職員が「働く」というキーワードについての考えを深く掘り下げ、就労支援部会がその情報共有や相互理解の場となれるような環境作りを継続していきたいと考える。
- ・役員体制について、副部会長を2名（A型またはB型職員1名、就労担当の行政職員1名）体制で望めればと考える。

### 【決算】

科目	収入額	支出額	差引金額	摘要
学習会	25,000円	0円		未実施
	25,000円	0円		未実施
合計	50,000円	0円		
当期残額	50,000円	0円	50,000円	

（令和4年3月31日現在）

## 令和 3 年度 諏訪地域障がい福祉自立支援協議会 専門部会 報告書

## 相談支援部会

【部会長】 鈴木美和子 (諏訪圏域障がい者総合支援センターオアシス)

【副部会長】 赤羽 孝仁 (相談支援事業所くるみ)

高橋 かおり (相談支援事業所 Rond 岡谷)

小川 明子 (茅野市西部 SC)

## 【協議目標】

相談支援の質の向上に向けた取り組み。またそのためのシステム作りの検討  
災害時の個別避難計画の作成に向けた情報共有と連携強化

## 【部会開催と活動内容】

第 1 回 令和 3 年 4 月 26 日 (月) 13:30～ オンライン (Zoom)

- ・令和 2 年度 オアシスの相談支援事業へのアウトリーチの報告
- ・サービス等利用計画 市町村提出様式について確認
- ・インテークシートや基本情報の男女の記載ラインについて

第 2 回 令和 3 年 6 月 23 日 (水) 13:30～ 諏訪市総合福祉背インター 交流ひろば

- ・障がい者配食サービス事業、障がい者支援施設等通所交通費助成について
- ・就労アセスメント、サービス終了後 (児童含む) の引継ぎについて
- ・令和 3 年度障害福祉サービス等報酬改定の勉強会
- ・ストレングスモデルによるグループスーパービジョン事例検討会

第 3 回 令和 3 年 8 月 24 日 (火) 13:30～ オンライン (Zoom)

- ・災害に関する取り組みについて 市町村の取り組み、個別避難計画について等  
8 月 15 日の豪雨災害で気付いたこと、ハザードマップを使った取り組みなど
- ・研修『災害時福祉支援の実践から』長野県災害福祉広域支援ネットワーク 北原氏

第 4 回 令和 3 年 10 月 13 日 (水) 13:30～ 諏訪市総合福祉背インター 交流ひろば

- ・研修『福祉避難所での支援について』講師 まちの減災ナースちの指導者 長谷川氏
- ・平成 29 年 相談支援部会作成のヘルプカードの活用について (再検討)

第 5 回 令和 3 年 12 月 8 日 (水) 13:30～ 諏訪市総合福祉センター 交流ひろば

- ・モニタリングの頻度とモニタリング時の課題「モニタリングの重要性について」
- ・長野県自立支援協議会 障がい者相談支援体制機能強化会議の報告  
「障害福祉計画・障害児福祉計画における PDCA サイクルについて」  
「ケアマネジメントにおける PDCA サイクルについて」

第6回 令和4年2月17日（水）13：30～ オンライン（Zoom）

- ・地域生活支援部会より防災WGより「災害時情報シートについて」
- ・第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画と協議会の連動表の確認  
～次年度の部会の協議内容について

### 【協議のまとめ】

- ・災害への備えについて、相談支援専門員が始められる取組について協議をした。

各市町村の個別避難計画作成の進捗状況やハザードマップの内容を確認した。部会内研修会（『災害時福祉支援の実践から』『福祉避難所での支援について』）では、実際の災害時に必要となることを学び、部会の中で必要な備えについて意見交換し、地域生活支援部会の災害WGの情報シートの検討に加わっている。アセスメントやモニタリング時に、避難場所の確認や避難時のシミュレーション、必要な備えを確認するなどの取組を開始した。多くの人が集まる避難所で生活することは難しいという方も多く、そのような方への対応（福祉避難所）については市町村に意見を上げていく必要性も提言があった。また、災害の備えについては、相談支援専門員のみが把握するのではなく、支援チーム全員で共有していくことが前提になることを確認した。

・その他、報酬改定のミニ勉強会やストレングスモデルによるグループスーパービジョン、グループワークなど、部会内で相互の人材育成に取組ことができた。また、対面開催が困難な状況下、オンライン開催という環境でグループワークを行うことの困難さ、相談支援においては対象者と顔を合わせ、表情だけでなく雰囲気・しぐさ等からも情報を得ることが大切との実感を、相談支援専門員が得られたことも収穫となった。

### 【評価及び次年度へ】

第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画と協議会の連動表で、他部会での取組を踏まえたうえで、相談支援専門員が地域課題と感ずることについて意見を出し合い、協議したことで、他部会との協力体制が見えてきた。

個別の課題から地域の課題と考えられる事例を収集することを続けていく。

情報交換や相談員同士の人材育成を部会の活動として意識する。

### 【決算】

科目	収入額	支出額	差引金額	摘要
令和3年度部会費	30,000円			
部会内研修会		5,000円		講師謝礼
		5,000円		講師謝礼
合計	30,000円	10,000円		
当期残額			20,000円	

## 令和3年度 諏訪地域障がい福祉自立支援協議会 専門部会 報告書

## 医療的ケア部会

【部会長】 井上 純一（この街支援センター）

【副部会長】 飯尾 郁美（原村保健福祉課福祉係）

濱 奈緒美（インハート諏訪）

## 【今年度の活動テーマ】

- ・ 諏訪版 医療的ケア児者のための情報共有シートの活用とブラッシュアップ
- ・ 共有シートを使った各関係機関との情報共有
- ・ 部会内で医療関係者からの勉強会を開き知識を深める。
- ・ 医療的ケア児を地域で支え合う為の問題共有と啓発方法の検討

## 【具体的な取組み】

## 第1回 4月28日（水）

1. 今年度の部会の年間計画の確認
2. 諏訪圏域医療的ケア児等実態調査の結果報告
3. 諏訪版地域資源調査の配布先の検討をし、6月中にアンケートを発送し7月中に回収、集計を行った。
4. 災害関連の研修内容と日時の検討をし、11月8日（月）に行う事に決めた。

## 第2回 8月10日（火）

1. 地域支援資源調査アンケートの集計報告・課題共有・活用方法の検討をした。今後も地域にどのようなニーズがあるか考えていく事になった。
2. コロナ禍でも取り組める活動の意見交換をした。
3. 医療的 CO の研修について周知した。

## 第3回 11月8日（月）

1. 在宅療養中の医療的ケア児・者の災害対策～避難の実際とハザードマップ～の表題でにじいろキッズらいふ看護師、長野市医療的ケア児等コーディネーターの小林紀子さん、にじいろキッズらいふ主任の塩入大介さんの講演を聞いた。元気館交流広場に部会員を含めた33人が参加した。参加できず後でWeb配信を希望した9名の方に研修会の動画を配信した。啓発活動として、11月4日に市民新聞に研修会の周知をしてもらい、当日も市民新聞の方が取材に見え同月11日に新聞に研修会の記事を掲載してもらおう。

## 第4回 2月7日（月）

1. 11月に行った「在宅療養中の医療的ケア児・者の災害対策」の研修の報告を行った。
2. 来年度の活動については、主に医療的ケア児等コーディネーターについて



R5 迄に設置を目指しているため、役割や業務内容、人員配置などを医ケア会で検討していく。

3.医療的ケアが必要な方の災害時の対応についても、引き続き考えていきたい。

## 【協議内容まとめ】

### これまでの成果

- ・ 諏訪圏域医療的ケア児等実態調査からは、医療との関りはあるものの地域の福祉には繋がりが薄い人が多く居る事が見えてきました。
- ・ 要医療的ケア児・者のための地域支援資源調査アンケート結果からは、看護師が事業所に居ても実際は受け入れが難しいとの回答が多かったです。特に児童に対して受け入れの出来る社会資源は少ない状況である事が再確認されました。
- ・ 在宅療養中の医療的ケア児・者の災害対策～避難の実際とハザードマップ～の講演会からは、医療的ケアが必要な方々の避難に対して、様々な課題がある事がわかった。今後は、諏訪圏域に必要な災害時の備えを当事者の方と一緒に考えていく必要がある事が見えてきました。

## 【評価及び今後の課題】

### 評価

- ・ 要医療的ケア児・者のための地域支援資源調査アンケート行い、諏訪圏域で医療的ケアを必要とされている方々が使える資源が少ない事を知る事ができた。
- ・ 在宅療養中の医療的ケア児・者の災害対策を考える事で、諏訪圏域で実際災害が起きた時にどんな事が必要なのか考えるきっかけになった。

### 今後の課題

- ・ 諏訪圏域における医療的ケア児等コーディネーターの設置に向けての体制作り。
- ・ 当事者(家族)のニーズ整理・把握。
- ・ 諏訪圏域における医療的ケア児者の社会資源の分析・発掘。
- ・ 医療的ケア児者の災害時に向けた課題への取り組み。

## 【決算】

科目	収入額	支出額	差引金額	摘要
R3 年度部会費	50,000 円	0 円		
地域支援資源調査		33,800		印刷代、郵送・返信用封筒、切手
災害関連研修		4,330 円		講師謝礼
合計	50,000 円	38,130 円		
当期残高			11,870 円	

(令和 4 年 3 月 31 日現在)

## 令和 3 年度 諏訪地域障がい福祉自立支援協議会 報告書

## フォーラム実行委員会

【委員長】 佐藤 恵 (富士見町地域活動支援センター 赤とんぼ)

【副委員長】 植松 真実 (富士見町住民福祉課)

## 【役割/目的】

- ・協議会正副会長、行政係長、各部会から選出された 2 名より構成される。
- ・フォーラム開催に向けて、企画、周知、当日の運営等を行う。

## 【活動内容】

第 1 回 令和 3 年 7 月 15 日 (木)

- ・正副実行委員長の選出
- ・フォーラムの内容、時期の検討

第 2 回 令和 3 年 8 月 6 日 (金)

- ・フォーラム内容決定 → 杉田あきひろ氏「講演と歌」、オンラインによる事業所販売会
- ・チラシ作成、配布について
- ・タイムスケジュールについて

\* 8 月 11 日 (水) ~ 25 日 (水) 実行委員会でサブタイトルを募集し投票

9 月 15 日 (水)、16 日 (木) 事業所販売会について、事業所向け説明会

第 3 回 令和 3 年 9 月 28 日 (火)

- ・事業所販売会について (協議会の一部負担金、オンラインシステム登録、決済方法等)
- ・チラシ等周知方法について
- ・杉田あきひろ氏講演等の当日スタッフ (Zoom 配信の撮影等) について

第 4 回 令和 3 年 11 月 19 日 (金) 申込状況、販売状況報告、当日の流れの確認

第 5 回 令和 4 年 2 月 10 日 (木) 実施しての振り返り、今後へのまとめ

【みんなが輝く地域づくりフォーラム 実施】 12 月 4 日 (土) 13:00~16:00

～会えない今こそ繋ぎあおう！地域丸ごとネットワーク～ (オンライン開催)

オンライン参加者 8 事業所 + 70 名前後

協働販売会 参加事業所 12 事業所 販売件数 37 件 売上 116,250 円

・オンラインで開催したことで、会場での参加が難しい当事者が参加することができた。今後の開催において、オンライン配信も求められるのではないかと感じた。

・フォーラムでは、杉田さんの講演とうたの間に、「繋ぎあおう」をテーマに、参加事業所から事業所紹介や販売促進など、フォーラム参加者に当事者から発信をしてもらった。

・LinkWork とぞうさんに販売ツールの協力をいただき、QR コードを使ったオンライン販売会を協働で開催することができた。オンライン販売会に必要なスキルを学ぶことができ、事業所が合同で行う際の課題も見えた。

・フォーラム参加や販売に加え、障がい福祉の事業所を身近に感じてもらう目的で、チラシ 2 万部を圏域小中学校・特別支援学校に配布。市町村広報での周知に加え、3 町村では回覧板にも掲示するなど、これまでになく周知を行った。